

Latin American Music 南米の響き

バンドネオンが紡ぐタンゴ
ギターが生み出すブラジル音楽のサウダーヂ
南米音楽に息吹きを与えるフルート
きらめくパラグアイの豎琴、アルパ

南米を巡る旅へ。

音楽でぶらり

金風吹く晩秋の昼下がり、

〈出演〉

大西孝明（ギター）
東大輔（フルート）
渡辺公章（バンドネオン）
渡辺美和（アルパ）

Program

Aller et Retour ファン・ホセ・モサリーニ作曲
Villa Luro トマス・グビッチ作曲
エル・チョコロ アンヘル・ビジョルド作曲
牛乳列車 フェリックス・ペレス・カルドーソ作曲 ほか

2021.11/28〔日〕 開場 13:30
開演 14:00

〔会場〕市民活動シアター

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4丁目1-3 仙台市市民活動サポートセンター

チケット

一般：4,000円 学生：1,500円

【ご予約・お問合せ】080-5069-0614（渡辺）watakimiaki@hotmail.com

スレイガイド：ヤマハミュージックリテイリング仙台、カワイ仙台 【主催】ムシカ・アリエント

ARTS
ARTS for the future!

ギター

大西 孝明 Takaaki Ohnishi

10代からロック／ポップス／R&B／ジャズなど数々のアーティストのライブサポートやセッションを行う。1997～2002年にクラブミュージックのユニット【Bayaka】にギタリスト／コンポーザー／アレンジャーとして参加し、国内外のレーベルから作品をリリース。2003～2005年、半野喜弘のプロジェクトにてUAや細野晴臣をフィーチャーした作品に参加する。2005年以降ブラジル音楽を核としたアコースティック編成にて、首都圏近郊のライブスポット、ホテル、レストランを始め、大使館イベントやブラジル関連フェスティバル等、様々なライブ活動を展開する。2013年にはピエール・バルーの来日イベントにギタリストとして共演し、2016年、インターネット番組DOMMUNE(ドミュン)にて再度共演、演奏がライブ配信される。



フルート

東 大輔 Daisuke Azuma

モダンフルート／フルートトラウエルソ奏者。12歳よりフルートを始める。音大には進まず一般の大学へ入学。卒業後、フランスの音楽講習会にてレイモン・ギヨー、アンドーラシュ・アドリアン、フランソワ・ロランなどのレッスンを受ける。国内にてソルフェージュ、対位法、室内楽などをマルグリット・フランス女史に師事。ルネサンス・フルートを前田リリ子に師事。現在、室内楽、オーケストラ、オペラなど様々な舞台上で演奏しながら、幅広い時代や様々なジャンルのレパートリーを開拓している。
大和国際オペラ協会会員。



バンドネオン

渡辺 公章 Kimiaki Watanabe

6歳より青森市で矢野吉晴氏の下でピアノを学ぶ。筑波大学第一学群社会学類卒業。大学在学中フランスに留学、バンドネオン奏者ファン・ホセ・モサリーニに出会い、バンドネオンを学ぶ。東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。その後、音楽の紹介と日仏間の音楽家の交流を目的とするNPO法人「日仏楽友協会」のプロデューサーとして多くの演奏会、講習会を企画する。タンゴ・グループ「タンゴ・アリエント」主宰。2015年より「吉田正記念オーケストラ」のバンドネオン奏者。2016年には新潟、北上、八戸、2018年に山形県庄内町にて「左手のピアニスト」館野泉氏と共演。2017年舞台『ラストダンスーブエノスアイレスで。』にて劇中の生演奏を担当。現在は仙台を中心として各地で演奏活動を行い、またバンドネオンとピアノのレッスンも行っている。



アルパ

渡辺 美和 Miwa Watanabe

千葉県出身。内山裕子氏の手ほどきを受けアルパを弾き始め、宮城ではパラグアイ出身のアルパ奏者、ホセ・ルイス・バルボーサ氏に師事。2009年全日本アルパコンクールで銅賞受賞。2017、2018年、七夕祭り期間中に瑞鳳殿にて「七夕ナイト森のコンサート」、2019年8月には「ラテン・ミュージック・フェスタ in 金ヶ崎」に出演。
また、2019年にはみちのく仙台ORI 姫隊のアルバム『Welcome to JAPAN 2020』の収録曲「催涙雨」のレコーディングに参加。現在宮城を中心として各地で演奏を行っている。
2020年11月に自身初のCDアルバム「LUNA LLENA (ルナ・ジェナ)」をリリース。

